

『真光寺川 里親の会』通信

10月号 一通算第66号

2006年10月8日

真光寺川は鶴見川の支流だが、本家本元の鶴見川は1級河川では全国ワーストNo.1の汚名を持つ川であった。

2005年には奈良の大和川のBOD 6.4 がワーストNo.1、鶴見川と綾瀬川が4.7で2位になり、かろうじて川全体で鯉、鮒が生息できる水質のBOD 5 以下になった。このBOD数値は1リットル当たりのミリグラムを示している。**2002年の時点ではBOD 5.5**であるから、年毎によくなりつつあると淡い期待を抱いている。BODが3.3になると鮎が遡上する。川を語るにはBODという単語は避けて通れない。**BOD（生物化学的酸素要求量）とは好気性バクテリアが、水中の有機物を酸化分解するのに必要な酸素量で、水質汚濁の指標**であり、普通20℃において5日間に消費する量を、mg/lで示している。CODが海域や湖沼で用いられるのに対し、BODは河川の汚濁指標として用いられる。



水棲生物 真光寺川では鶴見川の支流とはいえ多少は数値がいいと思いたい。湧水があり、小さな川だけに雨水の毎に水質が著しく改善される。そのせいか、ワーストNo.2では予想できない**魚群の豊富さ**である。**シジミ、カマツカ、ナマズ、モロコ、トウヨシノボリ、オイカワ、カワムツ**などがよく網で採れ、**魚で見る限り中流の水質である**と思いたい。水棲生物で調べるとやはり楽観は許されない。汚い川の代表的な生物で指標になるのはカゲロウの種類の「サホコカゲロウ」である。《左図参照・5～7mm 小型のカゲロウで、尾は3本あり、その中央と先端は黒く帯状になっている。石の表面にすみ、流れにさからってすばやく泳ぐ。》

この幼虫はこの川では瀬の石をひっくり返すと5ミリ強の虫がよく石にへばりついている。頭部にひげ2本、足6本、尾は3本の**この虫が汚い川の代表格の水棲生物**である。これよりも水質が下がると赤虫と呼ばれるユスリカの幼虫、糸ミミズがいるが、この段階では魚は期待できない。**最悪の状態の前の段階、「汚い川」ではあるが「やや汚い川」に近い水質が真光寺川の現状**であろう。ヒラタドロムシらしい円盤みたいな生物もいるので、もしこれが本物であれば「やや汚い川」のステージとの境界線になる。一度専門家の調査をお願いしたいものである。**水棲生物のほうがBOD、CODよりも正確な水質が判明する。**

好気性微生物の活用 大和川では「瀬と淵方式」にて水を浄化させているそうである。川に石を積み段差を作り石にすむ好気性微生物が汚濁物質の有機物を食べ、水質を改善する川の自浄作用の応用である。**真光寺川は流れが速い故、好気性バクテリアが容易に住み着きやすい。**住むその場所とは石になるがこれを設置すればかなり水質はよくなるはずである。人工河川であるだけに石ひとつからして川底からは出てこないし、出ても少なく、自浄に相当する量ではない。**手を拱いて行政が動き出すのを気長に待つか、働きかけるか、自ら動くか**いろいろと暗中模索、試行錯誤、切磋琢磨を重ね、**この川にお化粧を施し自慢の川に育てたいものである。**

魚の体温 人間は自ら熱を起し体温を維持する恒温動物だが、**魚は変温動物**である。大体、水温よりも体温は0.5度高く2度から3度の体温変化で著しく体調を崩す。水温の変化に伴い序々に体温も変わる変温動物であるだけに、急激な温度変化は致命傷になる。魚の体温1度差は人の5度に相当する。**水温20度に住む魚は体温20.5度だが、体温36度の人が手のひらに乗せると身体半分は10.5度の温度差になる。つまり魚にとっては52.5度の衝撃的な温度に等しい。**やたらに魚を手で触ると弱ったり死ぬのは火傷状態のショックが大きいらしい。水換えの水温変化、素手で触れる時は手袋と**魚の立場で愛すべき生物との“交流”をはかって戴きたい。**（五條 吉和・記）

今月の新会員 (敬称略)

里親の会	白井 健重	能ヶ谷町	9月例会に参加されて。(真光寺川河畔にお住いです)
------	-------	------	---------------------------

真光寺川を清流にする会：44名。真光寺川里親の会：138名。合計182名となりました。

『めだか基金』ポスト

郵便振替で石川由紀枝さん(広袴3丁目)。その他真光寺中学校(講演(山口会長)謝礼・総合学習現地謝礼)。ゴミフェスタ2006お手玉等の工作物売上げ1,690円。飲み会の割り勘残カンパは一金会・多摩の自然見つめクラブ等々で9月は12,026円でした。そのほかに福山晴美さんから切手をたくさんお送り頂きました。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「印字済払込取扱票」をポスト脇のファイルに入れてあります。18年4月より振込手数料が値上げとなりましたので、「赤インク印字の払込取扱票」をご利用頂ければ、振込手数料は加入者負担となり、皆様には振込手数料をご負担頂かず、手数料無料でお振込みが出来るようにいたしました。但しなるべくATMをご利用ください(ATMの場合は手数料据え置きです)どうかよろしく願いいたします。

郵便振替 『00150-4-574114』
加入者名 『真光寺川里親の会』

今回も素晴らしいお便りをたくさん戴きました

- ※ 通信費に使ってください・・・・・・・・・・(石川由紀枝さま：郵便振替で)
- ※ お集まりの時に飲みください(ビール券)・・・・・・・・(辰濃 和夫さま：会長宅へ郵便で)
- ※ (前略)このたび小学館発行「小学生ママの子育て応援マガジン“エデュ”」10月号に4年1組の真光寺川での活動の内容が紹介されました。これも清流の会のみなさんの支えのおかげです。ありがとうございます。・・・・・・・・(和光鶴川小学校・園田先生：Eメールで)
- ※ いつも心暖まる「通信」をいただき、ありがとうございます。小学生の頃川沿いで遊んでいた子供に声を掛けていただき、定点観測等に参加するようになりました。早いもので17歳になり、中学生・高校生になってからは参加することもなくなってしまいましたが、「通信」は毎回楽しみに読んでおりました。今回転居することとなり「通信」配達をご辞退させていただきたく、お便りいたしました。今後はHPで会の様子を拝見させていただきます。本当に長い間ありがとうございました。なお一層の会の発展をお祈りいたします。追伸：切手を同封しました。ご利用ください。・・・・・・・・(福山 駿くん(母)晴美さま：事務局へ郵便で)

私たちの行動基準

- 1, 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
- 2, 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
- 3, 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

11月例会は12日(第2日曜日)です

☆ スケジュール 9:30 開戸親水場 集合

09:30 定点観測

10:00 開戸親水場～神明橋間のオペレーション(クリーン作戦)

12:00 作戦会議：里親通信発送(会場は『いちよう会館』です)

14:30 解散予定

『<http://www5.ocn.ne.jp/~shinkoji/>』 ホームページのご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』 会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市真光寺3-3-1 公社住宅6-105 高橋日出男 TEL/Fax 042-735-0947 e-mail hide3@apricot.ocn.ne.jp

<編集後記> お母様からお手紙を頂いた福山 駿君ら当時鶴三小5年生の3少年は、会の発足間も無くの平成12年夏頃から仲間に入ってこられ、ゴミ拾いは勿論、爺さんたちが話に花を咲かせる「魚談義」にも熱心に参加。心和ませるアイドル的存在でした。中学生となってからは足が遠のきましたが、彼等の熱心な真光寺川の話からクラス全体が非常に活気付いた。と嬉しい後日談も伺いました(T)